

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 社会環境の変化に対応した新たな消防団のあり方検討事業

自治体名

山梨県

消防団名

1 事業の目的

災害の激甚化や被用者割合の増加など社会環境の変化を踏まえ、女性・学生・外国人など多様な人材が参画しやすい消防団環境を整備し、地域の災害対応力の強化を推進させる。

2 事業内容

1 多様な人材の消防団参画の推進

- 女性・学生・外国人を対象とした検討会を開催し、全国事例や当事者の意見を踏まえて、役割・活動内容・受入環境などの論点を整理した。
- 各市町村が、自団の規模や地域性に応じて 確保施策の方向性や課題を検討するためのヒントを得る場を提供した。

2 DX化促進

- 甲府市消防団山城分団において、消防団アプリの試験運用を実施し、操作性や運用上の課題を把握した。
- 県内市町村を対象に 体験型のDX勉強会を開催し、アプリ導入の可能性検討に必要な知見を提供した。
- アンケート調査・評価文書等により、導入判断に必要な 実務的論点（操作性、承認フロー、災害時運用、負担軽減効果等）を整理した。

3 事業成果

1 多様な人材の消防団参画の推進

- 女性・学生・外国人をテーマに計4回の検討会を実施し、役割設定・受入環境・広報など、確保に向けた具体的な施策を整理した。
- 当事者参加の議論により、各市町村が自団の規模・地域性に応じて施策化の方向性を検討する機会となった。
- 検討会后、複数自治体で女性向け広報の強化、学生認証制度の検討、多言語周知等の取組の芽が確認された。

2 DX化促進

- 県内消防団でアプリの試験運用を行い、操作性や承認フロー、一斉送信機能などの実務上の課題を把握した。
- 体験型のDX勉強会で13市町村22名にデモアカウントを提供し、導入検討に必要な知見を共有した。
- アンケートから、平常時や災害時の情報共有の有効性などの課題を整理し、今後の検討材料を得た。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
検討会の実施	回数	5回	4回	
検討会参加自治体(延数)	回数	2回	1回	
DX化勉強会の開催	市町村数	1市町村	1市町村	

5 その他参考情報

